



公益財団法人都市活力研究所と一般社団法人うめらくは、共同でトークイベント「キタ再発見の会」「うめらく未来ミッション」を開催します。「キタ再発見の会」は、キタエリアで多くの時間を過ごされる方に、是非キタエリアの豊富な魅力を知っていただき、もっと好きになっていただくきっかけとして開催しています。「うめらく未来ミッション」は実際に地域で活動している方と、地域で活動をしたい人をつなぐ交流の場として定期開催しています。未来にミッション(使命)を感じて活動する方々がつながり合うことにより、地域活性化仲間となり、実践のきっかけとなりますよう、皆様に気軽に立ち寄りいただき、夜のひとときにゲストトークや意見交換を愉しんでいただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

第12回キタ再発見の会×うめらく未来ミッション (vol.20)

□テーマ 『人財育成・発掘！本庄地域のこれからの挑戦』
 □コーディネーター：一般社団法人うめらく 代表 山田摩利子
 □ゲストスピーカー：本庄地域 二〇 勇 様
 宮里 展弘 様

□日時 2020年10月28日(水) 18:30-19:30
 □方法 オンライン会議システムZoomによる開催
 前半では、本庄地域で地域活動をされている方をゲストスピーカーとして「人財育成・発掘！本庄地域のこれからの挑戦」についてトークセッションを行います。
 後半では、参加者の方からの質問を受け付けます。
 本庄地域の表と裏を知り、新たなまちの価値を知るきっかけとなる地域の交流の場として開催します。

山田：今日は本庄地域からお2人の会長にお越しいただいております。

二〇：本庄地域活動協議会会長の二〇です。

宮里：本庄連合振興町会会長の宮里です。

山田：本日はうめきた外庭スクエアという場所をお借りしてお送りしています。北区本庄地域は、もともとは豊崎村だったのでしょか。

宮里：豊崎と、本庄、長柄、国分寺が明治22年に合併。豊崎村となる。

山田：その歴史を聞くと今の地名の由来がちょっとわかるなというふうにしたのでしょけれども、平成元年には大淀区と北区の合区により北区本庄という名前になったのですね。現在の本庄地域は人口が約1万3千人、世帯数が4671世帯です。昔の地図もご用意いただいておりますが、どんな記憶がありますか。

宮里：長柄運河は中津運河ともいっておりましたが、大淀地域の工業用水をそこから取ったりして水運に使われていました。柴島に浄水場がありますね。あそこに石炭を運んでいたのです。その石炭を運んでいたのは焼玉エンジンのボンボン船です。ちょうど本庄の西3丁目あたりに石炭を揚げる場所があったのです。そこから淀川を渡って柴島浄水場までケーブルが張ってありましてそのケーブルにバケツを吊していわゆるロープウェイで石炭を運んでおりました。そういうことが記憶にあります。

山田：大阪が水の都と呼ばれています。水をたくさん使った産業が栄えていたという事ですね。本庄のエリアの方は、昔はガラス工場とか、そういった所は多かったのでしょうか。

宮里：ガラス工場は多かったです。私が覚えているだけで4〜5軒ありました。それもなくなっていきましたね。

山田：なくなってしまった跡地には、こういったものができているのですか。

宮里：コーナンPRO、印刷会社本社ビル、マンションです。

山田：先ほど仰っていたいた豊崎本庄小学校ということで、豊崎の名前が残っているよということですね。本庄の子供たちはみんな豊崎中学校にあがるということなのですね。

二〇：豊崎地域と本庄地域は豊崎中学校です。

山田：今の地域の町会の区域図というのが出てきましたが、ご説明いただいてもよろしいのでしょうか。

宮里：東側から川1〜川4・5町会、そのなかにローレルハイツ大淀という団地が1つの町会になっています。その隣が東1〜東4・5町会ですね。その西隣が中1〜中4・5町会、一番西側が西1〜西4・5町会の、合計16町会があります。

山田：これをみるだけでも複雑な感じがするのですけれども。この縦の通りというのはもともと何か通りがあったわけなのでしょうか。

宮里：あれが本庄から地下鉄中崎町へ通する道だと思うのです。本庄西天満線といっています。あの通りは戦後少し広がったんです。私らが小さい頃は疎開道路といいました。それとか戦後の区画整理で広がった。

山田：本庄地域の方も結構、歩いて楽しい街だなという印象をもっているのですけれども、結構長屋も残ってたりとか、古いお家もところどころ

町会の成立ち（北区本庄東地区の沿革）

地名の沿革
 ◎明治22年豊崎村大字本庄となる。
 ◎明治30年豊崎村大字川崎となる。
 ◎明治45年豊崎町大字川崎・本庄となる。
 ◎大正14年東淀川区川崎町・本庄町となる。
 ◎昭和2年本庄川崎町・本庄東通に改称。
 ◎昭和18年新設の大淀区に転属。
 ◎昭和22年赤十字社奉仕団結成。
 ◎昭和50年大阪市地域振興会が赤十字社奉仕団と一体化発足。
 ◎昭和52年本庄東の現行行政区地名に改称。
 ◎平成元年大淀区と北区の合区により転属。

世帯数と人口（平成31年3月31日現在）

丁目	世帯数	人口
本庄東一丁目	1,269	1,999
本庄東二丁目	2,005	3,064
本庄東三丁目	1,397	2,213
計	4,671	7,276

ろにあるのですけれどもやっぱり空襲を免れたという中崎町と同じような感じなのでしょう。ちなみに銭湯はありますか。

二〇：そうですね、中崎町と一緒に。銭湯も昔は3軒あったのですが、（利用される方が減って）今はゼロです。

山田：高齢者率とか、このへんのこともお伺いしたいのですけれども。

二〇：高齢者率は約30%近くあります。

山田：町会の加入率というのはどうですか。

二〇：加入率は28%ぐらいです。

山田：本庄では新しくマンションができる時に町会に加入してくださいという働きかけというのはされていますか。

宮里：開発事業者のほうからだめだとい蹴されたこともあります。

山田：それでもローレルハイツ大淀では町会ができていますね。

二〇：協力金を活用して町会を立ち上げてもらうことを今進めているのです。

宮里：町会費もさることながら、新しく来られた方に地域に出てきてもらっていろいろ活動してもらう。それがいちばんの望みですね。

山田：是非出てきていただきたいという事ですが、一方で町会組織の事というか、町会はどんな事をやっているのかということがわからないとなかなか入る所まではいかないかなと思うので今日みたいな会をしてもっとたくさんの方に知ってもらいたいです。地域活動協議会という所では主にどんなことをされていますか。

二〇：高齢者向けの事業を徹底的にやっています。関連のイベントとしてはサクラフェスティバルやラジオ体操、本庄パル、子どももちつき大会をやっております。

山田：それは別に町会に入る・入らないに関係なく参加して頂いても大丈夫だよというイベントですね。その次に本庄連合振興町会はどういう活動をされていますか。

宮里：町会長会議、スクールゾーンの見守り、赤十字の募金、福祉事業後援会の寄付金集金ですね。それから行政よりの要望への対応、地活協・社協の各事業に対しての運営及び人的支援です。

山田：地域活動協議会は地域というのがどういふものであるかということや宣伝される組織、連合振興町会は地域の土台で地域を守られているという役割分担ですね。もう1つ、社会福祉協議会というのはどんな活動をされているのでしょうか。

二〇：現在はペンギンクラブという子育て支援の事業とあいさつ運動です。

山田：今日の本題ですね。今地域の状況を知って頂いたのですけれども、担い手の掘り起こしへの取り組みというのがすごく本庄地域は画期的という先進的な事をされていると事前のヒアリングで思いましたので今日はそちらの方のテーマを伺いたいと思います。

二〇：ボランティア交流会を4年前に立ち上げました。それまでは青指・

